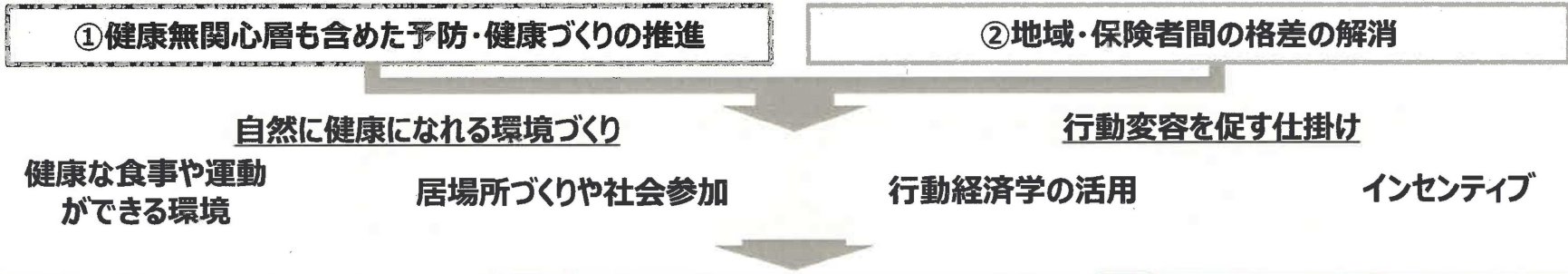


健康寿命の更なる延伸（健康寿命延伸プラン）

- 今夏に向けて、「健康寿命延伸プラン」を策定。
→2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し（2016年比）、**75歳以上**とすることを旨す。
2040年の具体的な目標（男性：75.14年以上 女性：77.79年以上）

①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、②地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用し、以下3分野を中心に取組を推進。



I 次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等

- (施策例)
- ◆ 栄養サミット2020（各国首脳級）を契機とした官民の様々な主体と連携した食環境づくり

先進的な取組例

Smart Meal
スマートミール

スマートミール認証制度
大手コンビニなど、2万弱の店舗が認証。（日本栄養改善学会など）

あだちベジタバライフ
飲食店での野菜メニューの提供（足立区）

II 疾病予防・重症化予防

- (施策例)
- ◆ 保険者インセンティブの強化(配点基準のメリハリ強化、成果指標の導入・拡大の検討)
 - ◆ 特定健診とがん検診の同時実施や効果的な受診勧奨などナッジの活用例の横展開

ターゲット別に異なるメッセージ例

毎年、日本人全体の11人に1人が乳がんにかかると推定されています。乳がんは早期発見で95%以上が治癒します。

がんが怖くて検診が不安な層へのメッセージ

がんに関心な層へのメッセージ

III 介護予防・フレイル対策、認知症予防

- (施策例)
- ◆ 「通いの場」等の更なる拡充に向け、保険者へのインセンティブ措置の強化
 - ◆ 介護報酬上のインセンティブ措置の強化
 - ◆ 「共生」・「予防」を柱とした認知症施策の推進

